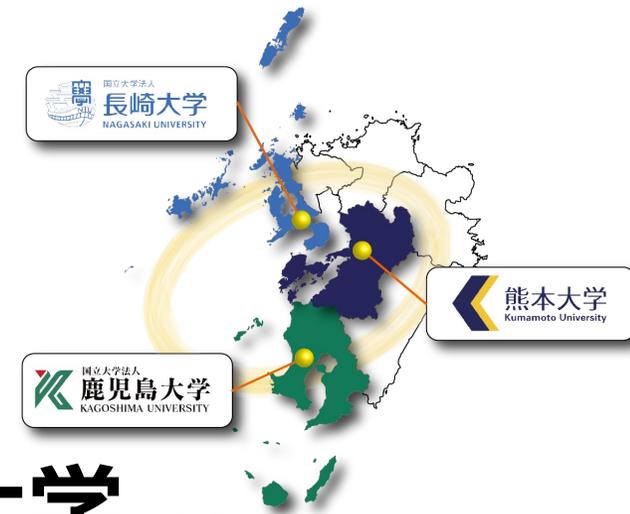


文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

第2回全国フォーラム 2024.1.19



長崎大学・熊本大学・鹿児島大学 次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト ～地域とくらしを支える医療人の育成～

長崎大学 永田康浩

次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域とくらしを支える医療人の育成～



長崎大学

- ★ 感染症教育拠点
- ★ 総合診療・地域包括ケア教育拠点

(長崎大学) 連携教育センター



- ① 地域医療交流実習プログラム
- ② リーダーシップ養成プログラム
- ③ 臨床実践教育強化プログラム
- ④ 地域医療医学ゼミ
- ⑤ 地域医療リーダー育成DX演習

- ・充実した感染症診療・教育基盤を活用した感染症診療と予防・コントロール教育のコンテンツ開発
- ・総合診療科と地域包括ケア教育センターの広域的な活動基盤を活用したプライマリ・ケアと難治性疾患の教育コンテンツ開発



長崎県

ながさき地域医療人材支援センターと離島・へき地医療支援センターを中心としたキャリア支援と医療提供体制の構築



鹿児島県

地域医療支援センターによる地域医療提供体制や地域医療に従事する医師の支援に関する調査・研究
離島・へき地等における診療やプライマリ・ケアに関する教育の推進



連携教育合同委員会
(コア会議)

- ▶ 単位互換制度の創設
- ▶ 学生・教員の交流
(地域医療交流実習プログラム)
- ▶ VRコンテンツ・オンデマンド教材と教育PGの開発・配信
(総合診療・救急災害医療・感染症 など)
- ▶ ICT基盤の確立
(Learning Management Systemの拡充)
- ▶ 地域枠制度の再構築
(診療科指定の地域枠創設)
- ▶ 教員研修の推進
- ▶ 高大連携の推進



熊本大学

- ★ 救急・災害医療教育拠点

(熊本大学) 連携教育センター

- ① 地域医療交流実習プログラム
- ② 地域医療総合演習
- ③ 地域医療実習プログラム (1)
・ 地域医療・福祉体験実習コース
- ④ 地域医療実習プログラム (2)
・ 地域医療実習コース
- ⑤ 地域医療実習プログラム (3)
・ 地域医療クリニカルクラークシップコース
- ⑥ 地域医療リーダー育成DX演習
- ⑦ 感染症統合講義

- ・熊本市内の充実した救急医療体制と熊本大学災害医療教育研究センターを主な基盤とした救急・災害医療教育のコンテンツ開発
- ・被災地としての経験を活かした教育提供



熊本県

地域医療支援センターと地域医療支援機構を拠点とした熊本大学と熊本県による地域医療の拡充



- ・多様な離島の暮らしと医療体制を基盤にした離島・へき地医療と家庭医療のコンテンツ開発
- ・異文化の理解と主体性を育む地域密着型の教育コンテンツ開発

鹿児島大学

- ★ 離島・へき地医療教育拠点
- ★ 家庭医療・地域包括ケア教育拠点

(鹿児島大学) 連携教育センター

- ① 地域医療交流実習プログラム
- ② 地域包括ケア演習
- ③ 初期地域医療実習1・2
- ④ 地域医療リーダー育成DX演習
- ⑤ 地域医療リーダーシップ1・2
- ⑥ 新興・再興感染症
- ⑦ 麻酔・集中治療・救急
- ⑧ 地域医療研究

3大学の強みを活かす連携の柱

互いの強み

長崎大学

感染症
総合診療・地域包括ケア

熊本大学

救急・災害医療

鹿児島大学

離島・へき地医療
家庭医療・地域包括ケア

連携の柱

デジタルコンテンツライブラリー

3大学それぞれの強みを活かした次世代デジタル
教育コンテンツの開発と共有

連携型学習管理システムの開発

多彩な教育コンテンツによる学びの能率向上と
学習者に優しいLMSの開発

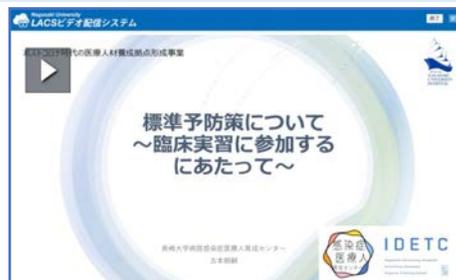
連携交換実習

地域を越えた大学間交換実習により、多様な地域に
適応できる主体性と柔軟性を養う教育



強みを活かしたデジタルコンテンツの作成

長崎大学
感染症



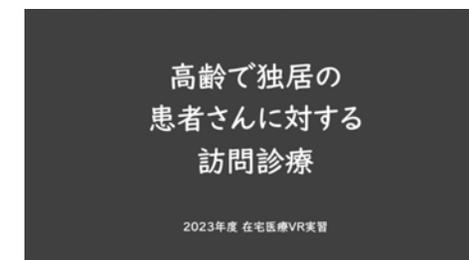
e-learning

熊本大学
救急・災害医療



VRコンテンツ

鹿児島大学
家庭医療・地域包括ケア



VRコンテンツ

VRコンテンツを活用した教育の実践

低学年の体験実習

学生講義におけるVR活用



臨床実習の事前学習

救急VRコンテンツ作成と教育実践



2022年2月 全診療科教育医長に向けてVR-FDワークショップを開催

VRを活用する新たな教育手法の開発

医学教育へのVR活用例

VRシミュレーション



VR患者シミュレーション



スクリーンベースVR



シリアスゲーム
ゲーミフィケーション



教育効果



問題点



情報量の多さはVRの強み



例:在宅医療で学ぶべきこと

各学習者が
気づいた情報
を出し合う

情報からの学び
相互に深め合う

ICT基盤の拡充によるLMS共有化

異なるLMS

長崎大学



熊本大学



鹿児島大学



コンテンツの
共有が困難

共通のサインイン画面

Nagasaki Univ.
Kumamoto Univ.
Kagoshima Univ.
Learning Management System

➔ 長大IDでサインイン

➔ 熊本大学IDでサインイン

➔ 鹿児島大学IDでサインイン

➔ その他のIDでサインイン (ss等)

各大学の認証ページ



共通LMS (Blackboardベース)

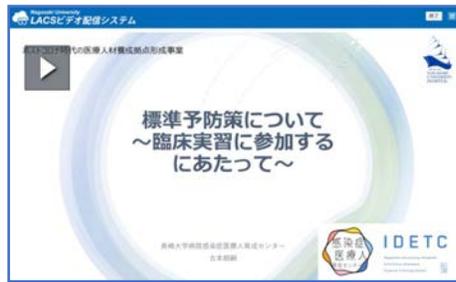


- ・デジタルコンテンツの掲載
- ・教育コンテンツのライブラリー化

本事業で新たに構築

LMSの強みを大学間で共有

感染標準予防 e-learning



視聴確認

再生番号	ログ番号	開始日時	開始時間	終了時間	視聴時間	再生前の操作
1	1	2023/09/07 00:11:26	0:00:00	0:14:37	0:14:37	ビデオ再生済み
2	1	2023/09/07 01:10:48	0:00:00	0:14:37	0:14:37	ビデオ再生済み
2	2	2023/09/07 02:14:04	0:00:00	0:00:02	0:00:02	巻き戻し
2	3	2023/09/07 02:35:13	0:00:02	0:00:06	0:00:04	停止
2	4	2023/09/07 02:35:19	0:00:09	0:00:13	0:00:04	スキップ
2	5	2023/09/07 02:35:24	0:00:27	0:00:28	0:00:01	スキップ
2	6	2023/09/07 02:35:39	0:00:42	0:06:53	0:06:11	スキップ
2	7	2023/09/07 02:42:11	0:06:54	0:07:14	0:00:20	スキップ
2	8	2023/09/07 02:42:32	0:07:14	0:07:20	0:00:06	停止
2	9	2023/09/07 02:44:43	0:07:22	0:09:14	0:01:52	スキップ
2	10	2023/09/07 02:44:43	0:09:14	0:13:32	0:04:18	停止
2	11	2023/09/07 02:49:02	0:13:32	0:14:37	0:01:05	停止
2	12	2023/09/07 02:50:37	0:09:57	0:10:01	0:00:04	巻き戻し
2	13	2023/09/07 02:50:42	0:10:06	0:10:07	0:00:01	スキップ

確認テスト

問題 1 ③ 全員に

* 問題文

標準予防策は、感染徴候のある人に適応する基本的な感染対策であり、感染症が否定で

* 選択肢を設定します。正しい解答を1つまたは複数選択してください。

部分的な評価と負の評価を許可する

オプション

正しい

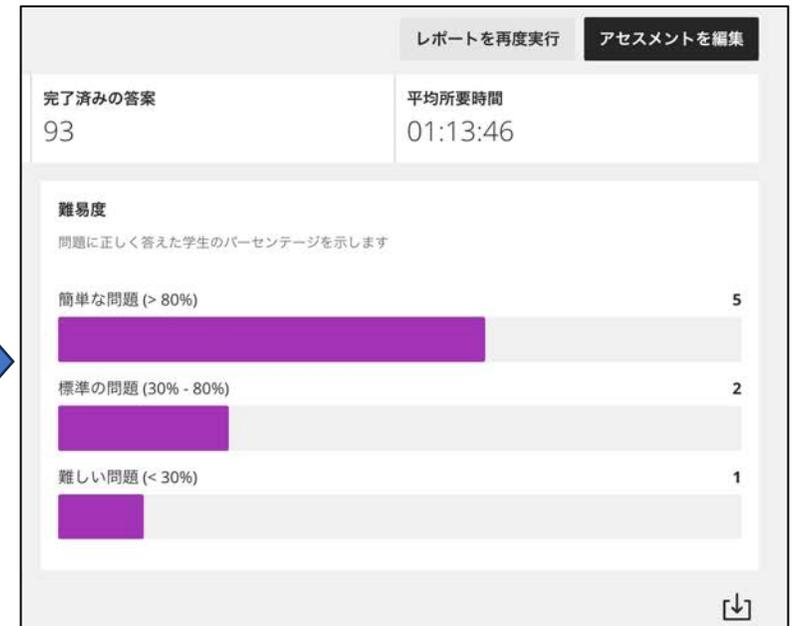
誤り

自動フィードバック

正解のフィードバック

標準予防策は**全ての人に適用**する感染対策で患者の疾病や健康状態により中止できるもの

成績管理・分析



3大学による地域医療交流実習プログラム

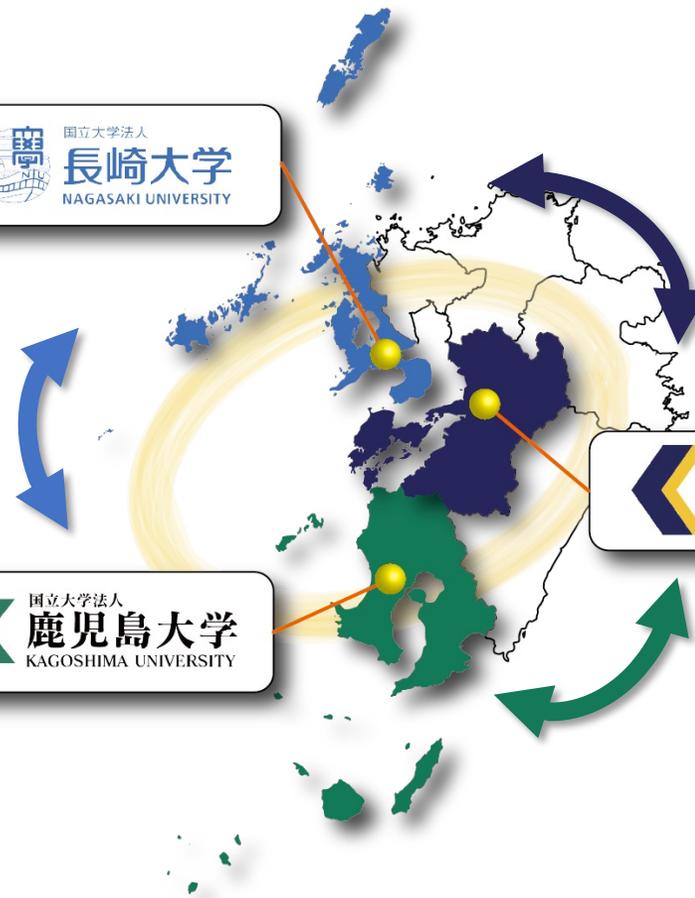
- **交流実習の目的**
多様な地域で医療を学び、
生活に触れ、自ら知見を広げる
主体性と柔軟性を養う



五島中央病院 (長崎県)



各大学病院群とのマッチング



くまもと県北病院 (熊本県)



出水総合医療センター (鹿児島県)

地域医療交流実習プログラム(学生・教員の交流)



【学生の感想】(熊本大学)

今回、院内の様々な部署、診療科、診療所で実習させていただき、**病院が地域の中でどのような役割を担っているか、また、限られた人数の中でその役割を果たすためにどのような努力、工夫をされているかなど**多くのことを学ぶことができました。

また**鹿児島大学の学生と一緒に実習することができたことも良い経験**となりました。今回は実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。

長崎大学・熊本大学・鹿児島大学
地域医療交流実習生の募集

熊本大学および鹿児島大学との地域医療交流実習生を募集します。
熊本県や鹿児島県の医療を身近で学べるよい機会です。ご応募お待ちしております。

災害に備える

阿蘇医療センターHPより 沖永良部島観光サイトより

対象者 長崎大学医学部医学科5年生

募集人数 実施期間中 4名(熊本2名、鹿児島2名)

実習先 熊本大学 災害医療を学べます
2024年1月29日~2月2日 1名 人吉医療センター
2024年2月26日~3月1日 1名 阿蘇医療センター

鹿児島大学 離島医療を学べます
2024年4月22日~4月26日 男性1名 本部医院(沖永良部)
2024年5月27日~5月31日 女性1名 本部医院(沖永良部)
2024年6月17日~6月28日 女性1名 本部医院(沖永良部)
(以上より2名)

*高次臨床実習の地域病院実習 第4週目(5日間)

旅費 長崎大学負担(ただし食事代は自己負担)

お申込み先 長崎大学医学部医療人材連携教育センターにメールもしくは電話にてお申込みください。
◆メールアドレス:kaoru-o@nagasaki-u.ac.jp
◆電話番号:095-819-8510
◆事務担当 岡田
◆メール・電話ともに、平日8:30~17:15 対応可

お申込み期限 2023年10月末

令和4-5年度：4名
令和5-6年度：13名(予定)

事業推進に向けた情報発信と教育の伝播

3大学合同フォーラム



3大学キックオフシンポジウム

WEB開催

文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト

地域と暮らしを支える医療人の育成

令和5年2月14日(火)

13:00 ▶ 15:00 [開場]

15:30 前登録が必要です。(※切:1月31日)

※以下URLまたはQRコードから事前登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/A2DN4983N>

※開催日1週間前頃に、参加用URLを登録者に送付予定です。

※開催日2日前になってもURLの連絡が届かない場合は、以下担当へお問い合わせをお願いします。

お問い合わせ 長崎大学生命医科学域・研究所事務部総務課企画担当
TEL: 095-819-7195 E-mail: gakujuu_kikaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

参加者89名



令和5年度3大学合同フォーラム

文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト

地域と暮らしを支える医療人の育成

令和5年2月12日(火)

プログラム

14:00~14:10 医学部長挨拶

14:10~14:15 来賓挨拶 文部科学省高等教育局医学教育課

14:15~15:15 事業進捗報告

15:15~15:50 特別講演
地域医療振興協会顧問、東京大学名誉教授 北村 聖先生

15:50~16:00 閉会挨拶

※参加には事前登録が必要です。(※切:11月30日)

※以下URLまたはQRコードから事前登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/8Qq5E11v>

※開催日1週間前頃に、参加用URLを登録者に送付予定です。

※開催日2日前になってもURLの連絡が届かない場合は、以下担当へお問い合わせをお願いします。

お問い合わせ 長崎大学生命医科学域・研究所事務部総務課企画担当
TEL: 095-819-7195 E-mail: gakujuu_kikaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

参加者77名

3大学共同FD

令和4年度 長崎大学・熊本大学・鹿児島大学 3大学医学部共同FD

VRを活用した次世代型医学教育

次世代の教育テクノロジーとして注目されているバーチャルリアリティ (VR) の活用を学び、感染症・災害・救急など現場での実習が困難な状況でもリアリティをもって学習できる方法を考えるFD研修会を開催します。

日時: 令和5年3月7日(火) 17:00~18:00

Zoom開催

※以下のURLもしくはQRコードからお申込みください。
申込期限: 令和5年3月6日(月)

<https://forms.gle/qFoaRiv2PNgCu6Ct5>



<プログラム>

テーマ: VRコンテンツの作成と活用について

司会 長崎大学医療人材連携教育センター センター長 永田康浩

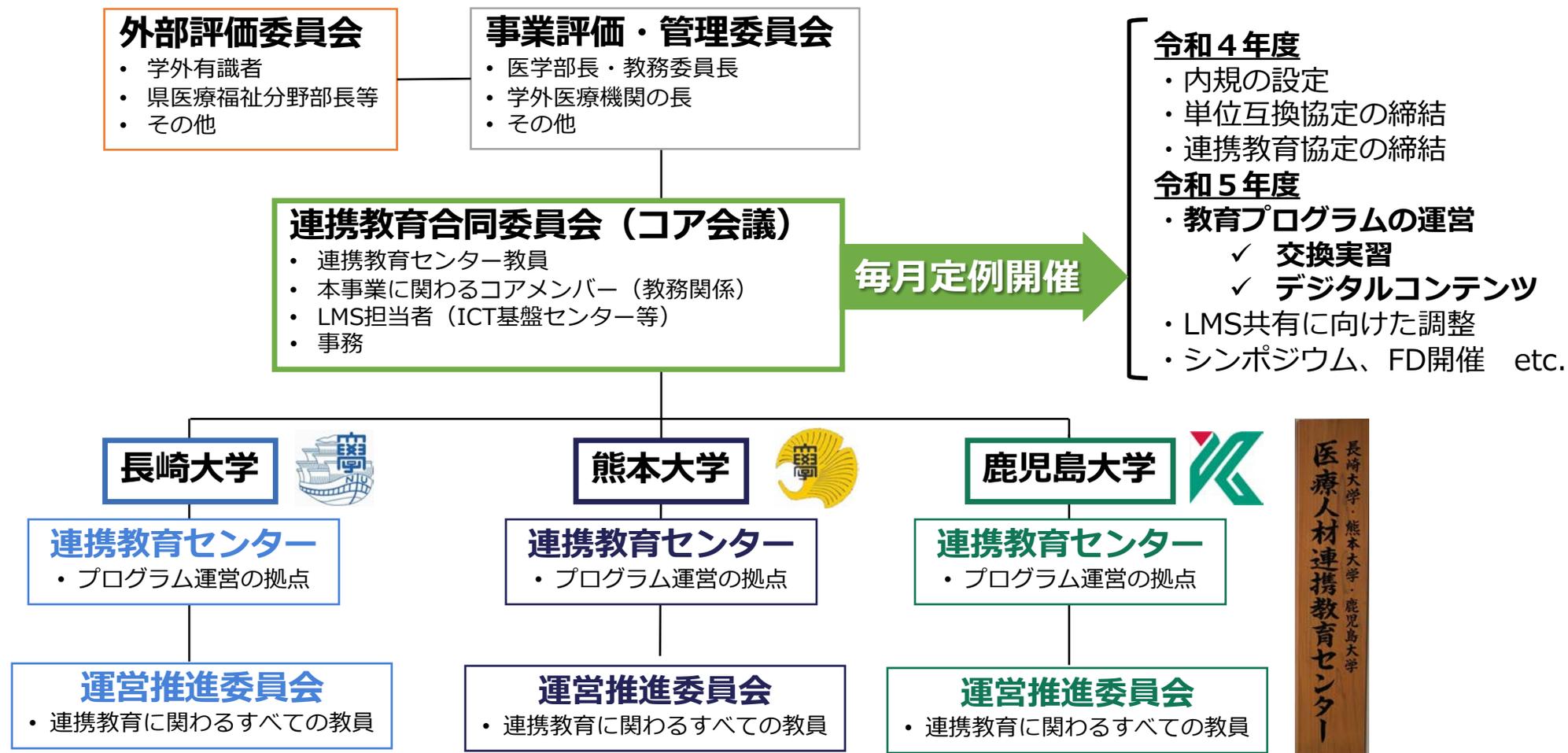
- 長崎大学の経験 医療人材連携教育センター 准教授 川尻真也
- 熊本大学の経験 災害医療教育研究センター 教授 笠岡俊志
- 鹿児島大学の経験 地域医療学分野 教授 大脳哲洋

※本セミナーは令和4年度文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」として開催します。FDの認定については各大学の担当にご確認ください。

主催: 長崎大学医療人材連携教育センター
問い合わせ先: 事務担当 岡田薫
メール: cminfo@ml.nagasaki-u.ac.jp
電話番号: 095-819-8510

参加者31名

プロジェクトの管理・運営・評価体制



全国の大学間で医学教育の進化を共有する

第1回全国フォーラム 筑波大学、東京

文部科学省補助事業
ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

第1回全国フォーラム

2023年1月11日(水) 13:00~16:00

一橋講堂 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター 2F

プログラム

- 13:00~13:10 開会挨拶
高田 典介(筑波大学長)
田中 剛(筑波大学医学部長/専攻責任者)
- 13:10~14:15 シンポジウム1 本事業で養成すべき医師像
シンポジスト: 伊藤 史章(文部科学省医学教育課長)
北村 聖(東京大学名誉教授、地域医療振興協会顧問、本事業運営委員会委員長)
尾身 茂(新型コロナウイルス対策分科会会長、最終予防対策部長)
- 14:15~14:30 休憩
- 14:30~15:55 シンポジウム2 本事業の今後の展開と連携のありかた
シンポジスト: 岡野 純彦(早稲田大学)
松本 大(筑波大学、千葉大学、富山大学、名古屋大学、岡山大学、高知大学、長崎大学、宮崎大学、琉球大学、埼玉医科大学)
- 15:55~16:00 閉会挨拶
若林 明孝(東京医科大学理事長/副学長)

●主催 筑波大学「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」事務局
mail: postcorona@md.hit-u.ac.jp

第2回全国フォーラム 千葉大学、千葉

文部科学省補助事業
ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

第2回全国フォーラム

新時代に適応可能な医療人材の養成

2024年1月19日(金) 13:00~15:30

千葉大学医学部附属病院
3F ガーネットホール (Webinar併用によるハイブリッド開催)

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶
中島 剛(千葉大学理事長/専攻責任者)
- 13:05~13:10 来賓挨拶
松本 大(文部科学省高等専門学校教育課長)
- 13:10~14:30 各拠点大学からの事業報告
14:30~14:40 休憩
14:40~15:10 質疑・総合討論
15:10~15:15 謝辞
松本 大(文部科学省高等専門学校教育課長)
- 15:15~15:20 次回フォーラム開催案内
15:20~15:30 閉会挨拶
三木 穂乃(千葉大学医学部長)
藤田 俊介(東京大学医学部長)

主催 千葉大学「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」事務局
mail: c.coma@chiba-u.jp

第3回全国フォーラム 長崎大学、一橋講堂 2025.1.10

国立大学法人
長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

熊本大学
Kumamoto University

国立大学法人
鹿児島大学
KAGOSHIMA UNIVERSITY

地域医療の未来を 共に創る

次世代教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト

NAGASAKI UNIV.
KUMAMOTO UNIV. JOINT PROJECT
KAGOSHIMA UNIV.

ご清聴ありがとうございました。